

事務事業評価シート(補助金事業)(平成25年度実績分)

(1) 補助金事業の名称・位置づけ [Plan1]

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	補助事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当係長名	
41512	小規模事業指導費補助金	産業振興課	商工振興係	飯澤 誠	原 照代	
		一次評価年月日	平成 26 年 6 月 13 日	連絡先〔内線〕	2146	
補助金事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)	会計区分		予算コード	事業名(歳出予算見積書)	
		<input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	0701	商工事業		
	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別		#N/A			
	第五次総合計画前期基本計画の施策体系における位置づけ	章	(コード選択)	4章	活力ある産業とにぎわいのまちづくり	
		節	(コード選択)	1節	活力ある地域産業の創出	
		項〔基本施策〕	(コード選択)	5項	活力を生み出す工業の振興	
		目〔主な施策〕	(コード選択)	1目	経営支援	
	関連する計画等への位置づけ	<input checked="" type="checkbox"/> 第五次行財政改革大綱 <input type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画 <input type="checkbox"/> 主要業務報告 <input type="checkbox"/> その他				
	補助金の期間	<input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 継続 (開始) 年度 ~ (終了予定) 年度				
	補助金の性質	<input type="checkbox"/> 事業費補助 <input checked="" type="checkbox"/> 団体運営費補助 <input type="checkbox"/> 大会運営費補助 <input type="checkbox"/> 利子補給 <input type="checkbox"/> その他()				
補助金の交付基準	<input type="checkbox"/> 法令 <input checked="" type="checkbox"/> 条例規則 <input type="checkbox"/> 要綱等 <input type="checkbox"/> 契約書 (規則等の名称:)					
補助金の算定方式	<input type="checkbox"/> 予算補助 <input type="checkbox"/> 決算補助 <input type="checkbox"/> 定率補助 <input checked="" type="checkbox"/> 定額補助					
補助金の財源内訳	<input checked="" type="checkbox"/> 町単独補助 <input type="checkbox"/> 国・県補助あり (町 / 10) (県 / 10) (国 / 10)					

(2) 補助金事業の内容(目的と手段を把握します。)[Plan2]

①対象(誰のために).....この補助金事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

一部事務組合等 公益法人 企業や団体 個人

(交付団体名 : 辰野町商工会)

②目的(意図)(どんな状態にしたいか).....この事業を実施することにより、対象をどういう状態にしたいのですか。

商工会が小規模事業者に対し指導を行うことにより、事業者の経営または、技術の改善、発達の手助けをし、会社経営が安定する。

③手段(事業内容)(どうやって).....上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、実施した行政活動(対象に対する働きかけ)を記入します。

1	小規模事業者に対して指導を行うための人件費を補助する。
2	

(3) 補助金事業の実績 [Do1]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度		
		24年度	25年度	27年度(見込み)	達成率	27	年度(見込み)	
①	指標名	小規模事業者に対する経営指導員指導		1,970	1,970	1,970	1.00	1,970
	説明	経営安定に対する巡回、窓口指導		算出方法・計算式・目標値設定の考え方等 過年度実績による見込数				
②	指標名	講習会の開催による指導		225	225	225	1.00	225
	説明	集団指導(労働・経営・情報)及び個人指導(金融・税務)件数		算出方法・計算式・目標値設定の考え方等 過年度実績による見込数				

(4) 交付額実績 / 計画の推移 [Do2]

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費(円)		11,000,000	11,000,000	11,000,000	11,000,000
補助率(町負担分)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
町交付額(一般財源)(円)		11,000,000	11,000,000	11,000,000	11,000,000
財源内訳	特定財源				
	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源		11,000,000	11,000,000	11,000,000	11,000,000
人件費の概算				(千円)	平成23年度 平成24年度 平成25年度 平成26年度
対前年比				%	決 算 決 算 決 算 見込み
					100 99 99 99
					98.5 100.2 99.9
					年間人件費 年間人件費 年間人件費 年間人件費
					/ / / /
町職員(正規職員)		0.00	0.00	0.00	0.00
臨時職員		人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算シート)			
		0.00	0.00	0.00	0.00

(5) 補助金の効果の評価【Check】

妥当性	1. 町民のニーズはありますか(補助金の交付を受ける活動が、町民に求められていますか)	A	A 町民のニーズが大きい B 町民のニーズが少ない、又は町民のニーズがない	{理由}	経営指導員の指導により、小規模事業者の経営改善ができ、それにより町の商業が発展し、にぎわいのある町づくりができる
	2. 社会情勢上必要ですか	A	A 社会情勢からみて実施すべき事業である B 社会情勢からみて、既に役割を終えた事業である	{理由}	小規模事業者には、商工会の経営指導が必要
	3. この補助金は広く町民のためになっていますか	A	A 広く町民のためになっている B 特定の者に限定して利益がある	{理由}	商工業者が経営指導を受け、事業の改善ができ、業績が良くなれば雇用も拡大し、町の人口増も見込める
	4. この補助金の支出は、町が税金を投入して行うべき事業ですか	A	A 税金を投入して行う事業である B 税金を投入する以外の方法について検討の余地がある	{理由}	経営指導により業績が向上すれば、町の税収増につながり、町も発展する
有効性	5. 事業の効果が具体的に把握できていますか	A	A 具体的な成果を数値等で明確に示すことができる B 具体的な成果を示すことは困難である	{理由}	経営指導員の指導回数及び講習会の開催回数により把握
	6. 補助金を交付することで期待された効果は得られましたか	B	A 期待した以上の成果があった B 期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった D 成果が少なく今後も向上する見込みがない	{理由}	会員企業のニーズを把握し、適格かつタイムリーな経営支援を実施した。また、講習会等に大勢の会員が参加できるようPRも実施
公平性	7. 対象者すべてに補助金が交付されていますか	A	A すべての対象者に交付されている B 一部の対象者に交付されている	{理由}	商工会に交付することにより、商工業経営安定のためになる
その他	8. これまでに見直しの実績はありますか	A	A 補助金について見直しを行った B 見直しを行ったことがない	{理由}	経営体質強化に重点を置いているので現状を維持する
	9. 補助金等の交付により、町にどのようなメリットがありますか		商工業者の経営が安定することにより、雇用も安定し、町の発展につながる		

(6) 改革改善【Action】

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) **□を一つチェックしてください。**

- ア.** 現状のまま継続する
 イ. 見直しのうえで継続する
 ウ. 終期設定
 エ. 廃止
 オ. 休止

<今後の展開方針>(イを選択した場合のみ□を一つチェックしてください)

- a** 増額する
 b 減額する
 c その他(隔年対応等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)	
--------	--

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)	26年度予算見積書への反映	<input checked="" type="checkbox"/>	あり	<input type="checkbox"/>	なし
商工会の指導員が継続して巡回活動や講習会の開催を実施することにより、商工業者がより良い経営を行うことができ、経営が安定するので継続して実施する	[反映内容]	小規模事業指導費補助金			

(7) 第五次総合計画における事務事業の達成度(H25年度末現在)

B	A(4) 計画の目標を達成した。または、計画の目標をほぼ達成し、今後は継続していく。 B(3) 計画の目標達成に向け、順調に推移している。または、一部改善の後、事業を継続する。 C(2) 計画に取り組み始めたばかりである。または、事業の内容について検討をする必要がある。 D(1) 計画の実施には着手できなかった。
	<p>※具体的な実施内容をお書きください</p> <p>商工会の活動を支援し、工業・商業の振興と改善を促進した。</p>

(8) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)	上位の施策の推進に貢献していますか。□をチェック
商工会の指導員が巡回指導を行う中で企業育成を図るため継続実施	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献度 大 <input type="checkbox"/> D. 上位施策なし <input type="checkbox"/> B. 貢献度 中 <input type="checkbox"/> C. 貢献度 小

(今後の方向性 □を一つチェックしてください。)

- ア.** 現状維持
 イ. 見直しのうえで継続する
 ウ. 終期設定
 エ. 廃止
 オ. 休止

上記 a ~ c を選択